

特集 I：多様な人財はセコムの成長を支える原動力

セコムは、「セコムの理念」が浸透した自由闊達な企業風土の中で生き生きと働く多様な人財が最大の資産であり、成長の原動力だと考えています。

全員経営で変化適応力を高める

外部環境の激しい変化に対応して企業が自己変革するには、変化への適応力が必要です。そのため、セコムは経営理念を共有する社員一人ひとりがミッションを理解し、主体的に判断して行動する「全員経営」を標榜しています。この「全員経営」を実効性のあるものにするために、自由闊達で風通しの良い公正な組織運営を推進し、それにより社員一人ひとりが高い意欲を持って業務に取り組めるように努めています。

また、「全員経営」を成り立たせるためには、高い社員満足度が不可欠となります。社員満足度が向上することで、社員一人ひとりが潜在能力を高い次元で発揮できるようになります。その結果、サービス品質が向上し、お客様や社会から一層信頼されるようになり、それが社員のやる気を高めて、より良いサービスの創造・提供につながる、という「正の循環」が生まれます。

セコムはこの「社員満足度を原点とする正の循環」により、持続的成長をめざしています。



社員一人ひとりが信頼されるサービスの提供に励む

「セコムの理念」をぶれない軸とする企業文化

多様な人財が常に生き生きと活動し、組織力を最大化するためには軸が必要です。セコムには、創業以来、社員や組織の精神のよりどころとして今日まで脈々と受け継がれてきた「セコムの理念」があります。「セコムの理念」には、「現状打破の精神」や「正しさの追求」などがあり、セコムの成長・発展の原動力となっています。社員は「セコムの理念」を行動原理として実践し、時代の変化を敏感にとらえながらのよう

にすれば社会の役に立てるかを考え、日々の業務に取り組んでいます。

「セコムの理念」は、セコムが展開する海外各国の言語にも翻訳され、世界中の組織の一人ひとりに浸透しています。

「セコムの理念」が浸透した、自由闊達な企業風土の中で、生き生きと活動する多様な人財は、他社が模倣できない無形資産であり、セコムの競争優位の源泉になっています。セコムは、この見えざる資

産を最も大切に、「セコムの理念」をぶれない軸とする企業文化のもとに、社会に役立つ独創的なサービスやシステムを開発・提供しています。



セコムグループ全社員が行動原理とする「セコムの理念」

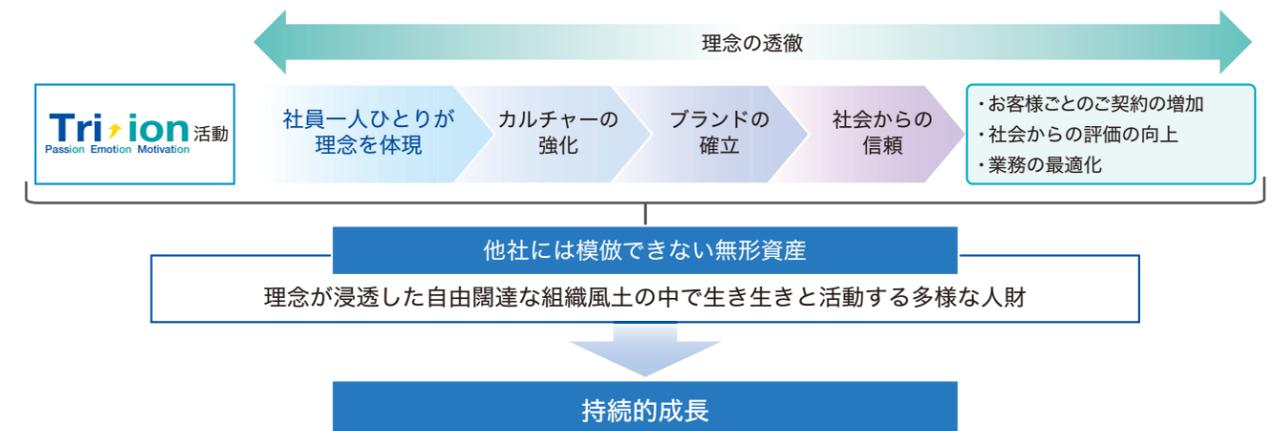
「Tri-ion活動」の推進

「セコムグループ ロードマップ2022」を策定した2018年には、さらに「セコムの理念」を組織の隅々まで透徹させ、セコムのブランドを一層向上させるための「Tri-ion (トリオン) 活動」を開始しています。「Tri-ion活動」とは、一人ひとりの“情熱 (passion)”を呼び起こし、仲間と“感動

(emotion)”を共有し、組織全体の“モチベーション (motivation)”を高めていく活動のことです。そして、社員が自分の価値観として「セコムの理念」を体現している状態をめざしています。

一人ひとりの社員が「セコムの理念」に基づいた活動を繰り返すことで、それが

セコムの組織風土となり、一方でお客様や社会から見ればセコムのブランド・信頼につながります。すなわち、セコムブランドは、理念が浸透した組織風土の中で、生き生きと活動する社員一人ひとりが担っています。



ダイバーシティへの取り組み

セコムでは、多様な人財や価値観を取り入れ、新たな価値創造に活かすことが重要であるとの考えのもとに、ダイバーシティの推進に取り組んでいます。2017年10月には、「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」を行い、性別や国籍、年齢などを問わず、多様な社員一人ひとりを

尊重し、それぞれが能力を最大限に発揮できる環境づくりを推進しています。

たとえば、女性の活躍を推進するために、女性社員が安心して元気に明るく活躍できる職場環境の整備をめざして、2016年3月1日に「女性活躍推進に関する行動計画」を策定し、女性リーダーの積

極的な育成や、女性が長く働けるように柔軟な働き方ができる制度の拡充を図っています。